

施策の進捗管理シート

令和 7 年度

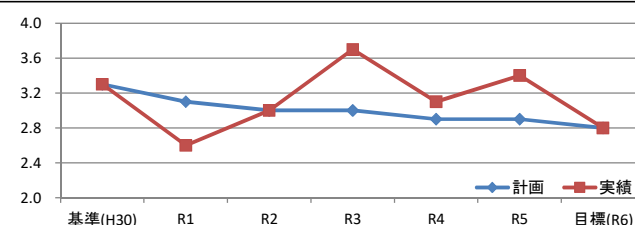
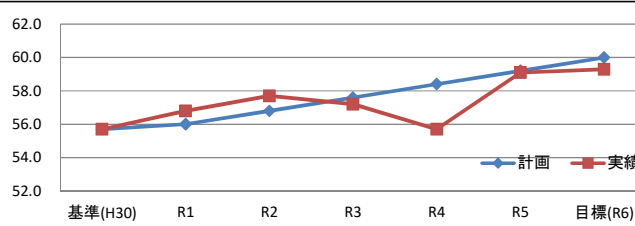
総合 体系 計画	分野	6	第 6 章	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	施策統括課	人権・同和政策課
	施策No.	3	施策名	人権尊重の確立	課長名 (施策統括責任者)	中野 晃一
	関係課	人権・同和政策課 男女共同参画課 学校教育課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民は、お互いの人権を侵害することなく、お互いの人権を尊重している。
取組方針	全ての市民が人権についての理解を深め、人権を侵害されることなく一人ひとりが尊重され、ともに支え合い、ともに生きる「共生社会の実現」をめざし、生涯を通しての人権教育・啓発と同和問題の解決に向けた取組を進めます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民						
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	市民一人ひとりが人権を尊重することの重要性を正しく認識し、理解を深める。						
成果指標 A							単位
人権・同和問題に関心がある市民の割合							%
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績	
55.7	56.0 56.8	56.8 57.7	57.6 57.2	58.4 55.7	59.2 59.1	60.0 59.3	
成果指標 B							単位
人権侵害を受けたことがある市民の割合							%
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標 実績	
3.3	3.1 2.6	3.0 3.0	3.0 3.7	2.9 3.1	2.9 3.4	2.8 2.8	



3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	34.1%	32.0%	↓
ある程度重要である	49.0%	46.7%	↓
あまり重要ではない	9.0%	14.3%	↑
重要ではない	1.2%	2.7%	↑
順位	31/36位	32/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	4.4%	5.5%	↑
どちらかといえば満足	53.8%	58.6%	↑
どちらかといえば不満	20.3%	17.0%	↓
不満である	3.3%	3.4%	↑
順位	5/36位	4/36位	↑

#### 4. これまでの取組・成果

・人権啓発ポスターコンクール、街頭啓発、バルーンフェスタ会場での啓発活動、人権ふれあい講演会開催、人権・同和問題に関する各種研修会や行事等の開催、公民館や自治公民館、企業等の主催する人権・同和問題に関する研修会に社会人権・同和教育指導員を派遣など、人権問題についての正しい理解と認識を深めることを目的として行った。

・隣保館では福祉の向上を図るための各種講座の開催、地域住民の活動や学習の機会・場所の提供を行い、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行った。

・教育集会所において、地域住民の活動や学習の機会、場所の提供を行い、各種研修会や行事、相談事業等を行い、人権意識の高揚を図った。

#### 5. 指標の達成状況に関する分析

「人権・同和問題に関心がある市民の割合」は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う啓発活動の自粛により、年ごとに増減はあったが、講演会の開催や街頭啓発などの実施水準が回復し、人権教育や啓発活動を行うことが増えたことにより、市民の人権・同和問題への関心を持つ市民が増加し、目標値達成までには至らなかったが、長期的に増加することが出来た。

「1年以内に人権侵害を受けたことがある市民の割合」についても、年毎の増減はあったものの、コロナ禍を経て、教宣活動や研究活動などの研修の実施水準が回復したことにより、人権・同和問題への関心の高まりとともに減少し、目標を達成することが出来た。

#### 6. 今後の方向性（第3次佐賀市総合計画への反映など）

年間を通して、広報活動、各種研修・教室等を行い、人権問題・同和問題の早期解決に向け、より広く人権・同和問題に関する理解と認識を高め、人権意識の高揚を図っていく。